



KAKUDAI

600-005-13
600-005-20
600-005-25

フレキパイプつば出し工具 (インパクトドライバー専用)

取扱説明書

使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、フレキパイプつば出し工具(インパクトドライバー専用)をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

注意 気をつけていただきたい「注意」を示します。

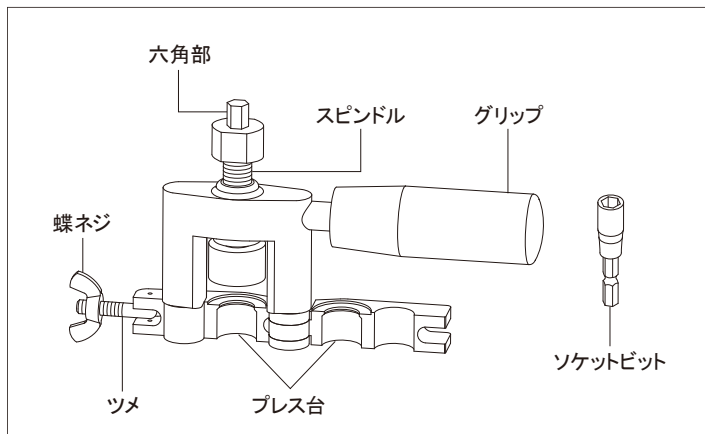
必ず実行 必ず実行していただく「強制」を示します。

禁止 してはいけない「禁止」を示します。

使用上のご注意

注意	● スピンドル部分には砂やゴミなどを付着させないようにし、定期的に注油してください。 ● 本体を落下させるなどの衝撃を与えないでください。 ● 他社製フレキパイプを使用した場合、つば出しが正しくできない場合があります。 ● だぶついた服装・ネクタイ・そで口の開いたもの・編み手袋などは身につけないでください。また、長髪は帽子やヘアカバーで覆ってください。回転中のインパクトドライバーの回転部に巻込まれて負傷する恐れがあります。
必ず実行	《呼13・20のフレキパイプ》 ● つば出し加工は必ず3つ山をつぶしてください。 《呼25のフレキパイプ》 ● つば出し加工は必ずリング(別売)をご使用ください。強度不足のため、破損や水もれを起こす恐れがあります。
禁止	● フレキパイプのつば出し以外に使用しないでください。 ● 小さいお子さまには絶対に触れさせないでください。 ● ドリルドライバーは設定トルクによっては手首を痛める恐れがあるため使用しないでください。

各部のなまえ

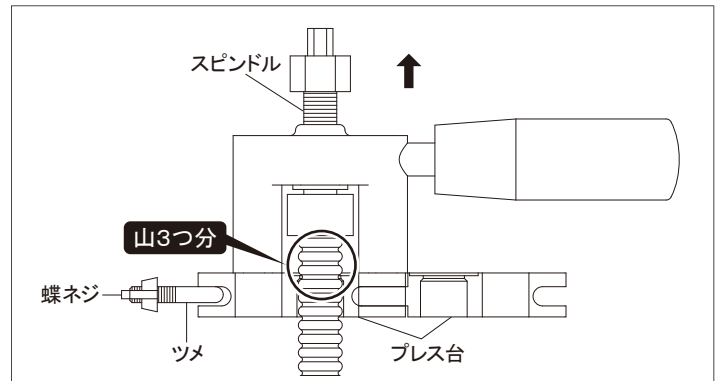


使用方法

1.フレキパイプをセットします。

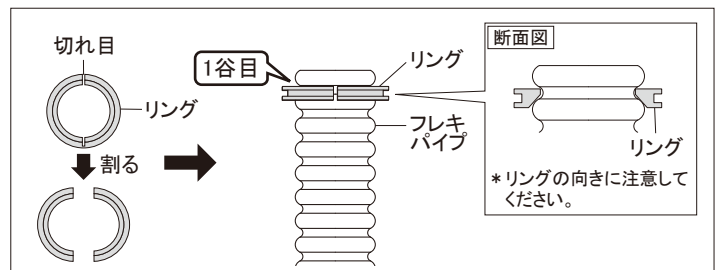
*フレキパイプつば出し工具のサイズによってフレキパイプのセット方法が異なります。

●呼13・20のフレキパイプ(600-005-13、600-005-20)

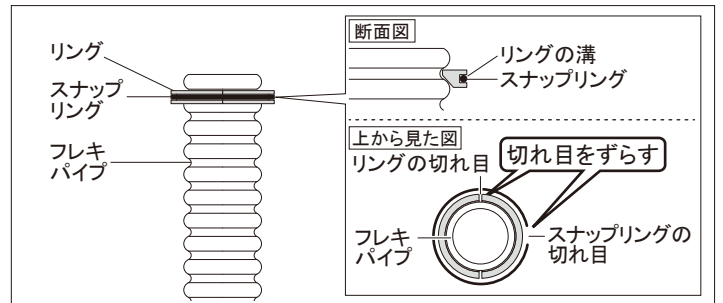


- ① スピンドルを持上げて蝶ネジをまわし、ツメとプレス台を開きます。
- ② フクロナットを通したフレキパイプを上図のように山3つ分出るようにセットします。
- ③ プレス台を閉じてツメを戻し、蝶ネジをまわして確実にフレキパイプを固定します。

●呼25のフレキパイプ(600-005-25)



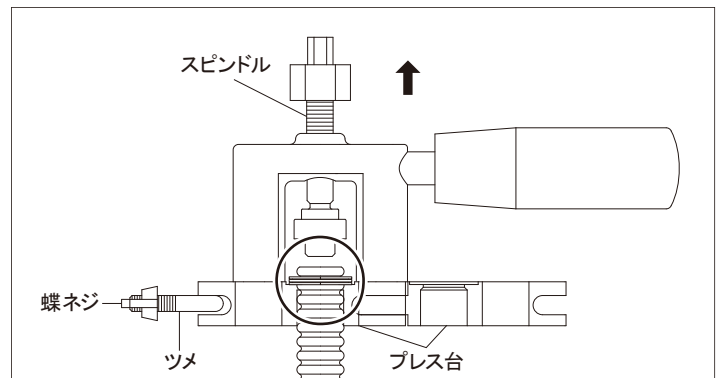
- ① リング(別売)を切れ目で割り、フクロナットを通したフレキパイプの1谷目にセットします。



- ② リング(別売)の溝にスナップリング(別売)をセットし、固定します。
* リング(別売)の切れ目に対し、スナップリング(別売)の切れ目をずらしてください。



リング(別売)は必ず1谷目にセットしてください。1谷目以外で加工されますと水もれの原因となります。

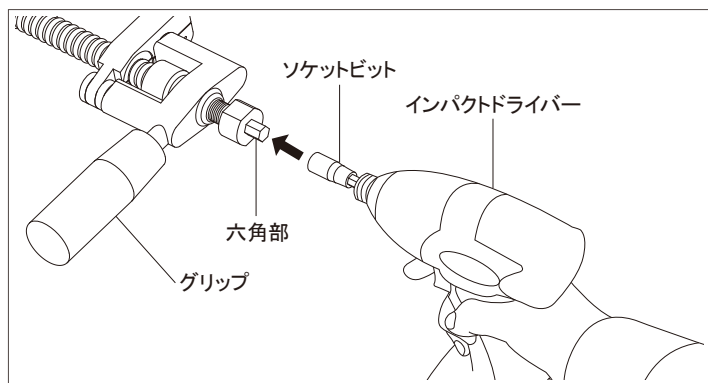


- ③ スピンドルを持上げて蝶ネジをまわし、ツメとプレス台を開きます。
- ④ リングを取付けたフレキパイプを上図のようにプレス台にセットします。
- ⑤ プレス台を閉じてツメを戻し、蝶ネジをまわして確実にフレキパイプを固定します。

裏面へ続く ➡

使用方法(つづき)

2.つば出しします。



- ①インパクトドライバーが不用意に回転しないようにロックをしてから、電池パックなどの電源を取外して回転しないことを確認します。
- ②インパクトドライバーの先端にソケットビットを差込みます。
*取付後、ソケットビットを引っ張って抜けないことをご確認ください。
*上記イラストは代表的なものです。一部メーカーにより取付方法が異なりますので、ご使用中のインパクトドライバーの取扱説明書をよくお読みのうえ、本品を取付けてください。
- ③インパクトドライバーに電源を取付け、ソケットビットをスピンドルの六角部にはめ込み、しっかりグリップを持った状態で回転させてプレスします。
*必要以上の負荷をかけてプレスしないでください。部品が破損する恐れがあります。
- ④スピンドルを戻してフレキパイプを取出し、つば出しが確実にできているか確認します。
*スピンドルを必要以上に戻さないでください。部品が破損する恐れがあります。



注意

- 作業中に異常音・異常振動が生じた場合は、直ちに作業を中止してください。そのまま使用した場合、部品が破損し、負傷する恐れがあります。
- 回転中のソケットビットやスピンドルに絶対に触れないでください。